

東北の工業

行發日廿月十一年一和昭
 社報時工商北東
 社報時工商北東
 社報時工商北東

局支社本
 石城郡小島濱町
 石城郡小島濱町
 石城郡小島濱町

洋鐵銅
 金物店
 目丁五町平
 店商屋釜
 番九九 話電

縣下人物論

杉山今朝吉氏

縣下に於ける炭礦界は何功七級軍曹に叙せられ陸軍
 にもインフレの力により旺省參謀本部に勤務せり後辭
 盛を極め事業發展今や炭礦として氏は人後に立つを喜ば
 界の黄金時代を築かんとして人生限りあり世事限りな
 る折柄獨り杉山炭礦々主杉山今朝吉氏は悠々として歩
 みつづけ宗教的感念こそ事し炭礦界に身を投じ天與の
 業發展の第一義と信する所連命を開拓せんと一意専念
 に「人間杉山」の人格が窮くことが出来るではないか。
 その信條より苦節幾星霜實に涙ぐましく努力こそ頭
 角を表はし致々として馳ま

事せし氏は常時炭礦界の人の亦氏に就いて對する趣味深
 材として聲望隆々たり。正に氏は炭礦界に於ける
 ブリーブナイトでありエキニ人として二重に使用分
 殊に人格を二重に使用分され思想善導の向上を計り
 射撃會等を催す事もある。亦内郷村軍人分會長に推
 常に精神修養に怠らざる五に社交成功兒として奮闘立
 十餘才にして精力旺盛氏の志の史を飾るに足る。
 因に同礦の販路は縣内は今後の發展計り知る可から
 勿論關西、山形、新潟方面す氏の健康を祈りて筆を擱
 格を認められてゐると。の健康を祈りて筆を止む。

川瀬幸治氏

氏は新潟縣の人幼少の頃より世路の荒浪に弄ばれ逆
 境と闘ひ人生の辛苦難に遭つて不撓不屈の勇猛を以て努
 第一礦區となし優良炭で尙無盡藏である。
 大杉山炭礦の完成も遠か
 らず實現を目前にして各
 地に遊泳する事多年轉々
 氏は山形縣新庄の人明治
 卅七年東洋の風雲急を告
 日露の役起や動員下命に接
 し奮闘力戦獅子奮迅の活躍
 を爲し東北男子の本領を磨
 揮し凱旋其功に依り勳八等

其の間氏は年少時代より
 受けたる苦しい体験を経て
 の苦しい教訓を得てゐる。
 それに依つて氏は天資英
 明敏鋭機を見るの明あり
 克己心に富み豪膽磊落然
 自若として能く人を遇する
 の道を守り大事に望んで堅
 忍不拔果斷力衷心溢るゝ如
 温帯を賦する精神の所有
 者であり近代稀れに見る人
 物である。
 氏をベタランと云はふか
 今や炭礦界の老練家である

農村問題

農村救濟窮乏問題は各方
 面の關心を持たれ各新聞や
 雑誌等に於てこの問題を競
 ふて取り上げ殊更書きたて
 るるが政府並に縣の施設
 を俟つてゐるが農村窮乏を
 根本から救ひ出す事は不可
 能である。
 養蠶を主とする農村に於
 ては未曾有の繭價の下落亦
 農産物價の低落引續き凶作
 と來てゐるから農村問題は
 益々深刻さを加へつゝある
 今日各方面で考へられて居

自動車検査場

濱通り自動車業者が多年
 の懸案であつた自動車検査
 場を開設する事になつた。
 而して工場長としては平
 る所の諸對策は餘りにも現
 象形態のみの同情や救済の
 手を延ばすだけで起つた凶
 作に對して何故に抵抗する
 事が出来ないのか如何にせ
 ば凶作に際しては左程打撃
 を負はないやうにするかと
 云ふ點まで考へる必要があ
 る。尙將來永遠の對策の爲
 るには土地制度の改革農村
 再編成 農業と工業との融
 合化を計る事である。
 然るに現在農村の收穫の
 減收增收に拘はらず土地の
 價格は騰る小作料は増徴さ
 れるそれより起る貧農達
 假りに自然科學の進歩氣
 象豫測の完備種の品種改良
 食物借金のため娘を賣る眼
 前には濡米一俵僅か五圓内外

鐘紡工場設置

郡山、二本松、須賀川、町は燃料水質等の條件に於
 喜多方から猛烈な奪取運動で競争地より優る點がある
 を開始した、鐘紡工場の設が所要敷地の買収費に於て
 置問題につき平町では青出他の地方よりも相當増大を
 町長が上京運動の經過に鑑み恐れがあつた實現を阻
 み直に委員會を召集協議の害する場合あると見られて
 結果津田社長及び丸山工場居るが平町が若干の補償を
 長に對し請願書を送り更りの他の犠牲をも拂はねばな
 町長自身上京の上極力運動らぬ水質の條件は良好であ
 るけれども果して配給でき
 るかどうか危ふまれてゐる

郡山無盡株式

郡山無盡株式 會社
 主任 黒澤
 飯坂出張所
 主任 黒澤

郡山無盡株式

郡山無盡株式 會社
 主任 黒澤
 飯坂出張所
 主任 黒澤

郡山にて祝賀會

漸く具體化し縣當局の諒解
 を得たので明年度から實現
 べく先般中署會議室で平
 四倉、富岡、植田四署管内
 の自動車業者聯合總會を開
 列車は郡山十一時着を迎へ
 き經費分擔その他を決議縣
 へ正式請願書を提出する事
 運動場に開催に決定せりと
 になつた。

水郡全通式

郡山にて祝賀會
 水郡全通式
 來月四日全通の水郡線祝
 賀會は四日水戸發臨時一番
 列車は郡山十一時着を迎へ
 き經費分擔その他を決議縣
 へ正式請願書を提出する事
 運動場に開催に決定せりと
 になつた。

平小鐵道

前記問題の成行を注目さ
 れてゐる。
 平小鐵道
 片濱廻り陳情
 明年度から實現される事と
 なつた平小名濱間の平小鐵
 道は高久豊間、江名の海岸
 を經由して小名濱に至るか
 どうか未だ實測に着手しな
 いので分らないが江名町河
 野、豊間鈴木、高久鈴木等三
 名が先般右片濱廻りに實現
 方を鐵道大臣に陳情したと

郡山無盡株式

郡山無盡株式 會社
 主任 黒澤
 飯坂出張所
 主任 黒澤

